

プロジェクト憲章

1.プロジェクトの概要

- ・プロジェクト名
「子供の片付け促進のための
重量センサーを利用した片付けサポートシステム開発プロジェクト」

2.ステークホルダー

- ・クライアント: 日本トイザラス株式会社
- ・エンドユーザ: 幼稚園児(4-6歳)・園児の親
- ・開発チーム: A08班 片倉綾香、佐藤迅、重久睦己、五十嵐 勇人、鈴木拓海、安部絢香

3.プロジェクトの背景、目的と妥当性(目標)

- ・背景: 家庭での子供の片付けに対して、「不満を持っている」という親が多く、
その中でも「おもちゃ」の片付けに対して、最も困っているという声が多い。
→このことから、親の子供のおもちゃの片付けに対する不満や負担を軽減するシステムが必要なのではないかと考えた。
- ・目的: 子どもが自主的に片付けをするようになり、親の負担を減らすことができると同時に、子どもの教育として親と一緒に行うことで、片付けにおける達成感を得てもらう。
- ・目標: 重さの記録や片付けの段階によって変わるシステムにする。
センサーを取りつけ自主的に片付けするようにゲーム性を持たせる。

4.プロジェクトの要求事項

- ・実現する機能: スマートフォンとのBluetoothを利用した連携機能
箱内に玩具が戻る重量の変化を利用したゲーム機能
玩具の重量を記録する機能
片付け時間を記録する機能
- ・成果物: 片づけをサポートできるようなゲーム性を持ったandroidアプリケーション
重量センサーを用いたプログラム
- ・作業範囲: 情報システム / デジタルコンテンツの開発作業と評価

5.プロジェクトの承認要求事項

12月17日に開催されるプロジェクト演習合同成果発表会にて、仮想クライアントの火災解決へと繋がるものと判断された場合とする。

6.プロジェクト環境

- ・前提条件:プロジェクトメンバーの構成として、プロジェクトマネージャ1人、フロントエンド開発3人、バックエンド開発2人の計6人とする。
プロジェクトマネージャはプロジェクト管理を主軸に置き、スケジュール管理などを行う。
フロントエンド担当者はデザイン作成も作業内容に含まれる。
バックエンド担当者はデータベース管理も作業内容に含まれる。
- ・制約条件:システム開発の完成。
12月に行われる発表会までの期限厳守。
- ・関連システムなど:開発環境・・・Arduino IDE、Android studio、
visual studio code
開発言語・・・C言語、C++、python、Java
データベース・・・MySQL(Androidの場合SQLite)

7.プロジェクトのスケジュール:マイルストーン毎の時間計画

- 4月 企画立案、要件定義
- 5月 環境整備、書類作成、情報収集
- 6月 技術検証、コンテンツの設計
- 7月 システム開発、夏季休暇の計画立案
- 8月 システム開発
- 9月 システム開発
- 10月 システム開発、プロトタイプ完成
- 11月 制作物のテスト
- 12月 全体のテスト、発表準備

8.プロジェクト資源

コスト(予算):総額14,795,000円

- ・PM工数 432(h)×10,000(円)=4,320,000円
- ・他メンバー総工数 2095(h)×5,000(円)=10,475,000円
- ・機材費用

メンバーの役割:片倉 綾香 プロジェクトマネージャー
佐藤 迅 デザイナー
重久 睦己 プログラマー
五十嵐 勇人 プログラマー
鈴木 拓海 プログラマー
安部 絢香 デザイナー

9.プロジェクトマネージャーと責任、権限のレベル

- ・プロジェクトマネージャー:片倉 綾香
- ・責任:プロジェクトの完遂
- ・権限:プロジェクトの管理・指揮